



子どもの頃からの予防メンテナンスが、
10年、20年先の口腔内を変える!

私たちは未来を見つめて
ケアしています

宮田歯科池袋診療所で働く小川さんと小林さんは、
「子どもの歯を守るためには、将来を見据えて予防をしていかなければ!」と
日々奮闘しています。

そんなお二人が、子どもの患者さんへのメンテナンスに
揃ってすすめているのがトリートメントケアです。
子どもの頃から続けることで、どのようないいことがあるのでしょうか?

●(医)弘進会 宮田歯科池袋診療所/東京都●

「10年先もこの子のためになる」と
胸を張って言えるケアを行っています



小川 由美子さん
(臨床歴25年)

何も治療をしていない子どもの歯って、本当にきれいって思ってた。でも、3歳でツヤのある天然歯を見てみると、「お年寄りになるまで大事にしてもらいたい」とつくづく思います。だから、微粒子の磨剤があってもクリーニングのたびに研磨剤を使うことにも抵抗があったんです。唾液で再石灰化するとはいえ、傷をつけているのは事実ですから……。よく雑誌に載っている、研磨を繰り返してサラサラになった歯面がいつも頭をよぎっていました。

何も治療をしていない子どもの歯って、本当にきれいって思ってた。でも、3歳でツヤのある天然歯を見てみると、「お年寄りになるまで大事にしてもらいたい」とつくづく思います。だから、微粒子の磨剤があってもクリーニングのたびに研磨剤を使うことにも抵抗があったんです。唾液で再石灰化するとはいえ、傷をつけているのは事実ですから……。よく雑誌に載っている、研磨を繰り返してサラサラになった歯面がいつも頭をよぎっていました。

か、私も楽しみました。
数ヶ月続けると歯にツヤ感が増し、口腔内のプラークも少なくなりましたね。その変化は誰が見てもわかるくらいです。彼女自身もそれがすこくうれしかったみたい。「この前ね、友達から歯がキレイって言われたの」「このまま、大人の歯はむし歯にしないようにしなきゃ!」と喜んでくれました。
周りから褒められて、自分から予防しようとする気持ちが芽生えたのかセルフケアも一段と熱心に。ブラッシングも上手になってきています。これからまずとKちゃんが自慢の歯でいられるように、しっかりサポートしていきたいです。

お子さんとご両親と私。
力を合わせて守っていくために
会話する時間を何より大切にしています



小林 啓子さん
(臨床歴11年)

子どもの歯を守るには、本人はもちろん、お父さんお母さんの協力が欠かせません。以前、きちんと磨いていると言ってくれど、歯肉がぶくぶくになっちゃってる子がいたんです。お母さんにお家での様子を注意して見てもらうと、磨いた後におやつを食べていたみたい。子どもだけではきちんと自己管理できないからこそ、三者で会話をする時間が必要なんです。

とはいえ、プロフェッショナルケアだけで予約時間が過ぎてしまうことも。クリーニングの時間を短くできたら……。そう思ってトリートメントケアをしてみました。すると次の来院では、着色も時間をかけずにスルツと落ちるようになっていったんです。そこで余った時間を、お子さんとご両親との会話にあてられるようになりました。

話せる時間が増えると、患者さんの生活背景を知ることができます。そのため、確実な予防指導ができるようになります。先ね、先日、あるお母さんが「最近うちの子、フロスしてないんです」と教え